

小児2型糖尿病患者の症例報告

安田 祐希¹⁾

Yuki Yasuda

杉原 茂孝²⁾

Shigetaka Sugihara

東京女子医科大学東医療センター小児科 助教¹⁾, 教授²⁾

コンサルテーション

【かかりつけ医からの紹介目的】

10歳女子。感冒症状で紹介元のかかりつけ医を受診した際に、前回受診時からの急激な体重増加、受診時肥満度+73.1%と高度肥満、著明な黒色表皮症を認め、専門家による精査が必要と判断され、当科に紹介となった。以前にも当科受診歴があり、振り返ると、2歳9ヵ月時に肥満のため地域の保健所より紹介されていた。その後の通院治療が中断していた症例であった。

患者背景

患者：10歳，女子，小学5年生

主 訴：かかりつけ医より肥満症・糖尿病の精査加療目的で紹介

出生歴：在胎37週6日，正常分娩，出生身長46.0 cm，
出生体重2,688 g

既往歴：2歳9ヵ月時に肥満で当科受診歴あり。

家族歴：父：173 cm，90 kg，高血圧

母：150 cm，70 kg，痛風，フィリピン人

母方祖父：糖尿病（肥満があった），

心筋梗塞・脳梗塞は無し

た。肥満外来にて血液検査、尿検査を行い、耐糖能異常、肝機能障害、脂質異常は認めなかった。食事指導を含めた生活指導を行い、外来にて定期フォローする予定であった。しかしその後来院せず、定期的なフォローが途絶えてしまった。

10歳8ヵ月時に感冒症状でかかりつけ医を受診した際に、身長156.5 cm，体重79.8 kg（肥満度+73.1%）と高度肥満を認めており、精査加療目的に当科を紹介受診となった。

図1に本患児の身長体重の成長曲線を示す。乳児期よりずっと肥満であったことがわかる。

当科にて血液検査、尿検査を行ったところ、空腹時血糖値 131 mg/dL，HbA1c 8.6%のため糖尿病と診断され、精査・教育入院となった。

糖尿病の発見までの経緯

2歳9ヵ月時に健診で身長94.2 cm，体重20.0 kg（肥満度+46.7%）にて地域の保健所より当科紹介受診となっ